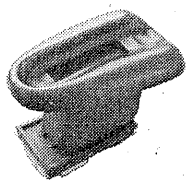
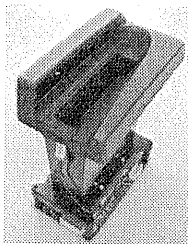


1万円以下の「指静脈モジュール」開発 展示会で脚光、新規市場開拓、加速へ

フィット・デザイン・システム



指静脈モジュールの開発・販売を手掛けるフィット・デザイン・システム(埼玉県所沢市東所沢5-13-9、笠原英世社長)は、I51・5166)は、ICを集約することで従



来の同社製品に比べ3分の1のコストダウンに成功した指静脈認証モジュールの新製品「FDV・570」(3.5世代)を開発した。3月6日から9日まで東京ビッグサイトで開催されたセキュリティショー2012に出展、関係者の注目を集めたほか、海外システム設計企業等からの問い合わせも多いという。今回新開発した指静脈

認証モジュール「FDV・570」(写真)は、認証機能となるIC部を開発することで価格を1

万円以下の従来製品に比べ3分の1と大幅にコストダウンした。また、環境照度も0〜5000LUX、環境温度も0〜40度と常温から寒冷地など幅広い環境下でも認証が可能なこと、導入シーンを選ばない汎用性を誇る。登録人数は350人、認証モードも1対1のほかに、当然1対1も可能。更に、認証速度は僅か1.0秒(1秒)のスループットを実現しており、出勤時など大勢が利用するシーンでも確実に認証が可能。

「指静脈認証システムが開発されると同時に、金融機関のATMコーナーやオフィスの入室等、幅広い分野で導入が求めましたが、導入範囲も一巡した観があります。しかし、不正侵入や情報漏洩などは相変わらず発生しており、是非、そうした分野への導入をアピールしていきたいと思えます。コストダウンしたことでインシャルコストが抑えられ、しかも認証精度は従来通り国内でも一、二を誇るハイグレード製品で、他社製品と比較すれば優位性を御理解頂けると確信しています。

それだけに、金融機関やデータセンターといった重要施設等の新規市場を開拓していきたいと思えます(笠原社長)と、自信をのぞかせた。今後の販売動向が気にかかる